

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-70320(P2021-70320A)

【公開日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2021-021

【出願番号】特願2020-154804(P2020-154804)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 2/01 1 2 5

B 4 1 J 2/01 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月18日(2021.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体を加熱する第1の加熱手段と、

予熱時に前記第1の加熱手段が第1の出力で前記媒体を加熱し、前記媒体の温度が所定の閾値に達した場合に、前記第1の出力以上となる第2の出力で前記媒体を加熱するよう前記第1の加熱手段を制御し、搬送手段による前記媒体の搬送を開始させる制御部と、  
を備えることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項2】

媒体を加熱する第1の加熱手段と、

予熱時に前記第1の加熱手段が第1の出力で加熱し、前記第1の加熱手段の内部の温度  
が所定の閾値に達した場合に、前記第1の出力以上となる第2の出力で加熱するよう前  
記第1の加熱手段を制御し、搬送手段による前記媒体の搬送を開始させる制御部と、  
を備えることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項3】

前記液体吐出装置は、前記予熱時に媒体と接触して加熱する第2の加熱手段をさらに有  
する請求項1または2に記載の液体吐出装置。

【請求項4】

前記第1の加熱手段は、前記媒体を表面から加熱する請求項1ないし3のいずれかに記  
載の液体吐出装置。

【請求項5】

前記第2の加熱手段は、前記媒体を裏面から加熱する請求項1ないし3のいずれかに記  
載の液体吐出装置。

【請求項6】

前記第1の加熱手段は、遠赤外線で加熱する請求項1ないし5のいずれかに記載の液体  
吐出装置。

【請求項7】

前記液体吐出装置は、前記媒体表面の温度を検知する第1の温度センサと、前記第1の  
加熱手段の内部の温度を検知する第2の温度センサとをさらに有し、

前記制御部は、前記第2の温度センサが予熱時の制御温度である予熱制御温度を検知す

るまで前記第1の出力を継続させ、前記第1の温度センサが前記所定の閾値となる温度を検知した場合に、前記第1の加熱手段の出力を前記第1の出力から前記第2の出力とする

、  
ことを特徴とする請求項1ないし6のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項8】

前記所定の閾値は、前記予熱制御温度の概ね50～100%の範囲に設定することを特徴とする請求項7に記載の液体吐出装置。

【請求項9】

前記制御部は、前記媒体の種類に応じて、前記第1の出力による加熱と前記第2の出力による加熱を行う、

ことを特徴とする請求項1ないし8のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項10】

前記第1の加熱手段は、当該第1の加熱手段の加熱を抑制するファンを備え、

前記制御部は、前記第1の加熱手段の温度が前記所定の閾値となるまで前記ファンを停止させ、前記第1の加熱手段の温度が所定の閾値に達した後に前記ファンを動作させる、

ことを特徴とする請求項1ないし9のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項11】

前記制御部は、操作部がユーザから予熱動作に関する操作を受け付けた場合に、当該操作にしたがって前記予熱の動作を実行するように前記第1の加熱手段を制御する、

ことを特徴とする請求項1ないし10のいずれかに記載の液体吐出装置。